

令和元年度（2019年度）
第2回 沖縄歯科衛生士学校 学校関係者評価委員会

日時：令和2年3月16日（月）

20:00～21:45

場所：沖縄歯科衛生士学校

4階 講堂

【出席者】

比 嘉 香恵子	沖縄県歯科衛生士会 会長	業界代表
中 神 順 子	沖縄県歯科衛生士学校同窓会 会長	同窓会代表
上江洲 朝 男	琉球大学教職センター 准教授	教育・学術機関
武 富 良 悟	株式会社 沖縄歯科器材 専務	企業
平 敷 幸 浩	株式会社 ちとせ印刷 専務取締役	企業
真境名 勉	沖縄歯科衛生士学校 校長	オブザーバー
新 崎 隆	沖縄歯科衛生士学校 教務部長	〃
上 原 生 子	沖縄歯科衛生士学校 教務主任	〃
志喜屋 やよい	沖縄歯科衛生士学校 教務副主任	〃

議 事 録

1. 開会の挨拶（教務部長）
 - ・今年度2回目の学校関係者評価委員会を始めます
2. 校長挨拶
 - ・重要な位置づけの会議となります。委員の皆様のスムーズな会議となりますようご協力を宜しくお願い致します
3. 出席者紹介
 - ・名簿にてご確認をお願い致します
4. 報告事項
 - （1）令和元年度卒業生（第30期生）の状況について
 - ・入学時、在学時、国家試験対策等の学生状況報告
 - ・就職状況報告

【評価委員】

- ・評価項目の進路指導の中で資格取得を100%と目標を掲げているが、今年度の国家試験の合格率はどうなっているか

【専任教員】

- ・令和2年3月26日（木）午後2時が合格発表です
- ・前年度は100%合格でした

5. 協議事項

(1) 令和元年度自己評価について

- ・教務部長より今年度自己評価結果につき報告

【評価委員】

- ・2回の評価実施日と、評価者について明記した方が良い

【専任教員】

- ・評価日：第1回→10月、第2回→3月
- ・評価者：学校運営委員、専任教員、実習補助教員、学校事務関係者

1. 教育活動の教育計画について

【評価委員からの意見】

・成果の部分に「達成されていない」語句のみの表記となっているが、良かった成果を書いてもいいのではないかと思う。目標が「カリキュラム編成」となっているので、今後の方策部分にカリキュラム名をしっかりと入れた方が良い。学生の実態の評価をしているのか、先生方の評価をしているのか混在している感じがする。基礎的な取り組みでの学則変更(カリキュラム編成)は行ったが、更に指導の強化が必要と理解していいのですね。

【評価委員質問】

- ・シラバス、国家試験問題等の質問あり

2. 学生支援について

【評価委員からの意見】

・具体的目標に「出欠指導の充実」とあるが、評価する側は難しい内容だと思う。この部分も、学生の事を評価しているのか、指導内容の評価なのかわかりにくい

【評価委員質問】

- ・学生の欠席状況について
- ・新型コロナウイルスの影響（休校等）について

3. 進路指導について

【評価委員】

・就職説明会の評価なのか、離職率の確認の調査なのかわかりにくい。目標に具体的数字が明記されているので、目指す目標なのか、数字の評価なのかはっきりしない。目標の文言に名詞と動詞があるので、動詞で統一すると良い。今後は、学生目標か教員目標かを明確にすると良い。

- ・目標と成果の整合性がないので総合的な見直しが必要だと感じる。

【評価委員質問】

・就職率100%の目標とあるが、今後の方策の「追跡調査」との関わり、具体的内容について

4. 社会人基礎力について

【評価委員】

・今の時代、ヘアカラーについては、画一的な指導では困難だと思う。そうしなければならない理由をしっかりと理解させることが大切。資格が無い状態で実習をさせて頂いている意味等について、しっかりと認識させる事が大切

5. 広報について

【評価委員】

- ・達成されていない項目は、今後の方策を取り組めば成果があがるのか
- ・定員割れを防ぐのが大切なのか、優秀な学生を集めるのが目的なのか

【評価委員】

- ・高校生、社会に、歯科衛生士の仕事を認知していただくのが大切
- ・やり甲斐や魅力ある仕事アピール
- ・手段がHPであり、進学フェスタ参加なのですね
- ・オープンキャンパス等で直接的なコミュニケーションが大事
- ・オープンキャンパスに活躍している卒業生を招いて、やり甲斐・魅力について講話をして頂くことは、高校生にとっても、在校生にとっても良い刺激になるのでは
- ・在校生よりも、卒業生の声をアピールしてはどうか
- ・HPに卒業生の活躍している様子の紹介
- ・他職種との比較（魅力）

【評価委員質問】

- ・他職種と比較して受験者が少ないのか
- ・学校独自の奨学金制度はあるのか。優秀な学生はそれを探している事があると思う

6. 組織・運営について

【評価委員】

・目標の「教員の指導力を高める」はとても大事な項目だと思うが評価が低いのが気になる

【司会】

・講師全体の情報共有の場が無い為、講師間の連携が取りにくい。教科の繋がりが弱い。

【評価委員】

・学生からみると、講師は連携していると考えているはずですが、学生からの評価があってもいいのではないかと、それが改善に向かう手立てでもある。評価を受ければそうせざるを得なくなる。それによってどんどん改革されてく

るはずである。学生をひっぱって行く教育から、今は、どうすれば学生が授業について行けるか講師が工夫を重ねる必要がある

【専任教員】

- ・講師の確保が難しい状況にある
- ・普段は診療を行いながら、講義に来て頂いている講師が殆ど

【評価委員】

- ・診療をされながらのシラバス作成等、講師も大変だと思うが、学生は授業料を払っているので工夫は必要になってくると思う

7. 施設・設備について

【評価委員】

- ・物なので、順次やっていくことになる

【総合評価】

- ・トータルでいくと、組織・運営が一番の問題。直ぐに介入可能な人の問題。
- ・追跡調査の方法について言及
- ・最近、文書・メールを見ないので、HPの利用や個人情報確保しながら SNS 等を活用する方が確実ではないか

【校長】

- ・施設・設備に関しては、建物の老朽化もあり、資金の事でもあるので、年次予算で行っている

(2) 令和2年度学校関係者評価委員の委嘱について

- ・今年度同様、次年度もお引き受け承諾

6. その他

(1) 次回開催予定について

- ・第1回開催を令和2年10月予定

7. 閉会の挨拶（教務部長）

・貴重なご意見を頂きましてありがとうございました。本会議の議事録はホームページ上に掲載し、質問等に関しましては、学内での会議で検討を行い、今後の学校運営、教育活動に活かしていきたいと思っております。